

「自己評価委員会」結果報告

平成26年3月25日

公益財団法人JKAの補助を受けて平成25年3月28日に体位変換補助装置を2台搭載した胃部X線検診車「あすなろ7号」を導入いたしました。検診車製作時の計画であった平成25年度目標に対する実績について、「自己評価委員会」を設置し評価を行った結果は次の通りです。

○検診車における、新規の胃がん検診受診者の実績

目標値（年間）	全体実績（4月～2月）	内あすなろ7号
6,000名	3,829名 (目標に対し約63.8%)	769名 (全体実績に対し約20.1%)
内外国人受診者 2,000名	120名 (目標に対し6%)	32名 (全体実績に対し約26.7%)
内聴覚障害や高齢受診者 4,000名	3,709名 (目標に対し約92.7%)	737名 (全体実績に対し約19.8%)

・評価

2（達成率63.8%、5段階中下から2番目の評価）

委員会意見

- ・外国人の新規受診者数が伸びなかった要因として、震災による原発事故の影響により多数の外国人が帰国したこともあげられる。
- ・胃がん検診車が10台ある中で、7号における外国の方や高齢者の受診率が約20%である結果を見ると、体位変換補助装置の効果があったと言える。



あすなろ7号